

座長コラム「長岡の風」

第20回 2025年9月

アーバンスポーツ

長岡経済・産業連携会議 座長：高野裕

『アーバンスポーツとは、現代の「都市型スポーツ」の総称であり、今後益々の発展が期待されているが、本施設近隣には遊べる場所がまだまだ少なく、本施設が時代・地域ニーズの受け皿となり、地域活性化につながれば幸いである。』

この文章は「国営越後丘陵公園ながおかアーバンバイクパークの整備について」(<https://www.hrr.mlit.go.jp/library/happyoukai/R7/c/c-07.pdf>)と題する国営越後丘陵公園工務課担当者の報告書に書かれた文言である。

今月開催された長岡経済・産業連携会議で、ある報告がなされた。それは、今月の9月27日（土）に国営越後丘陵公園の新エリアオープニングセレモニーが開催されるという。アーバンスポーツができる「かわべの里 ながおかアーバンバイクパーク」のオープンだ。国営越後丘陵公園では、未公開のスペースにどのような施設を造るかという議論の中で、地元長岡にはBMX競技で長岡出身2人の世界的選手がいる、その一人、片桐選手は高校生でX Gamesで優勝している。このような選手がいる長岡に開設する施設ということから、日本海側で初の施設が造られ、その施設が今月オープンするという。ちなみにBMX（ビーエムエックス）とは、Bicycle Motocross（バイシクルモトクロス）の略で、専用の小型で頑丈な自転車を使用したサイクルスポーツおよびその自転車の総称だ。

オープンする主な施設の概要は以下の通りだ。

- ①バンプトラック：日本海側で初の施設、起伏のある波状コース、全舗装型
- ②デュアルスラローム：並行した2つのダートコースを2人が同時に競争走行できる
- ③ダートジャンプ：初級～上級のジャンプ台を自転車で飛び越えるコース
- ④ボタリング：自然景観の中をのんびりと楽しめる
- ⑤フラット広場：スケートボードやBMXフラットランド、ランニングバイクレースなど
- ⑥中央広場：イベントやレンタルバイク試乗

長岡にこのような時代の最先端のスポーツ施設ができることは、実に素晴らしいことである。せっかくできた施設なのだから、これを積極的に活用して長岡の活性化に繋げたいものである。

最近、長岡のちょっとした若者のイベントで自転車のBMXフリースタイルのパフォーマンスを見る機会が増えた。さらに子供達が体験できるイベントが目につくようになった。実に結構なことである。これをもっと広めて、長岡にこのような最先端の施設があるのであるから、色々なイベントや体験する機会を増やし、長岡にアーバンスポーツありと言えるようなものに育ってほしいと願う。この願いは、まさに国営越後丘陵公園公務課担当者と同じ思いである。